

■九州朝日放送番組審議会議事概要（11月分）

第588回	九州朝日放送番組審議会 議事概要
開催年月日	平成28年11月21日（月） 午後3時30分～5時
開催場所	九州朝日放送 本社役員会議室
出席者	<p>委員総数 8名 出席委員数 7名 欠席委員 1名（レポート提出）</p> <p>（出席委員） 宮田克彦委員長、古宮洋二副委員長、安恒万記委員、井手雅春委員、三好京子委員、野田幸之輔委員、池田 勝委員</p> <p>（放送事業者側出席者名） 代表取締役社長 和氣 靖 専務取締役編成制作局長 半田俊彦 取締役ラジオ局長 清水 透 報道局長 松延健次 テレビ編成部長 坂井 剛 プロデューサー 渡辺 浩司 ディレクター 田中 孝之 視聴者・広報室長兼番審事務局長 久芳康治 事務局員 古賀香織、松田泰久</p>
議 題	<ol style="list-style-type: none"> 1. テレビ番組 「前川清のまんてんタビ好き～南国・沖縄 離島のタビ～」 <放送日> 10月2日(日) 午後1時55分～3時20分 2. 平成28年11・12月ラジオ・テレビ番組編成状況 3. 平成28年10月視聴者・聴取者応答状況の報告 4. その他
議事の概要	<p>◎委員の意見（概要）</p> <p>委員からは</p> <ul style="list-style-type: none"> ○特段の盛り上がりや面白いエピソードがある訳ではないが、前川清・えとう窓口の嫌味のない語り口と現地の方との素朴な会話を魅力として、なんとなく引き込まれてしまう、好感が持てる番組である。 ○前川清さんとえとう窓口さんの興味があるものにその都度、焦点をあてる形で番組が進行することで、前後の関係が分からなくても楽しめる「ながら見」にうってつけの番組だ。 ○視聴者が共感する地元の方々の人生が垣間見られ、「旅番組」というより「人生の応援番組」なのではないかと思う。 ○いたる所にコンビニがあり、スマホを片手に送る我々の日頃の生活と比べると島での生活は心洗われるものがあった。 ○前川清さんは元々笑顔を見せずに淡々と歌うイメージだったが番組での前川さんはにこやかにタイトル通りの「笑顔まんてん」だったし、加藤茶さんをゲストに迎えるなど、全国ネット番組としての工夫が見られた。 <p style="text-align: right;">などの評価を頂きました。</p> <p>また、気になる点や望むこととしては、</p> <ul style="list-style-type: none"> ○通常、取材はノーアポ、ノープランということだが、今回の全国ネットでもそうだったのか？ ○九州・沖縄に離島は沢山あると思うが、今回、あまり有名ではない慶留間島や阿嘉島を旅先に選んだ理由を知りたい。 ○今後も全国ネットにチャレンジして頂き、より多くの方が九州を訪れるようにしてほしい。 ○ユニークな旅番組だが最小限の旅情報やアクセスの紹介があればと思う。 <p style="text-align: right;">などの批評や提言を頂きました。</p> <p>これらに対して、担当者から、</p> <ul style="list-style-type: none"> ○取材先の下見はしたが、全国ネットであってもいつものようにノーアポ、ノープランを通した。 ○番組初の全国ネットとして、ロケ地の魅力をアピールすべく沖縄を選んだが、「タビ好き」らしさを出せる究極の路地裏として、メジャーではない慶留間島と阿嘉島を選んだ。 ○酷暑の中での取材は肉体面、精神面でも辛かった。 ○九州・沖縄の局では二ケタの視聴率を頂いたが、関東は不満足な結果となり、残念であった。 <p style="text-align: right;">などの説明をしました。</p>